

# 活性化へ3カ年計画

## 青年部が第63回大会を開催

【本部・宮内竜平記】東京 土建青年部は5月17日、建設部53人が参加しました。コロナウイルス感染防止のため、代議員定数を変更し、



3密回避に十分配慮し行なった青年部大会

各支部から委任状を集め、規模を縮小し午前中のみでの開催となりました。新役員の選出、青年部活性化のための中

期3カ年計画の1年目の指標を明らかにし、新年度の方針・メインスローガン等を確認、最後に五本木部長から「今後の機関会議等でも、各支部からの意見をしっかりと受け止め、方針に反映させていきたいと思います。コロナウイルスが収束したら、青年部活動を爆発させよう」とあいさつし閉会しました。

## 都選出国会議員へ コロナ対策で緊急要請



平沢議員(右)に緊急要請の書面を渡す中村専従常任中執

5月19日、全建連連東京都連の4役、専門部長・副部長、書記局16人は国会議員会館を訪れ、東京選挙区の議員のうち32人へコロナ対策の緊急要請行動を実施しました。東京土建からは松本久人副委員長(都連・副委員長)、渡辺義久副委員長(都連・技術対策部長)、栗橋宏専従常任中執(都連・仕事対策部長)、中村修一専従常任中執(都連・賃金対策部長)、田村彰宏専従常任中執(都連・社会保障対策部長)が参加しました。

新型コロナウイルス感染症対策で、日本が遅れをとったPCR検査体制は、医療体制の脆弱性を反映したものです。これまでの医療費削減や行政改革のために、医師と看護師の長時間労働と研修医の無給労働によって成り立ってきた日本の医療は、感染爆発が起これば「医療崩壊」が避けられないのが現状です。政府はコロナ危機に対して緊急経

## 今月の主張

### 公的医療の充実が急務

ばしなどによる減収で、経営破綻が起これば「診療報酬の入金まで持たない病院も出てくる。一つでも倒産すれば医療崩壊が現実になる」などと訴えています。

経済対策を打ち出しましたが、全日本民医連や医労連などをつくる医療団体連絡会議は、医療への財政支出が不十分だと批判し、「患者受け入れのための空床確保や健康診断の先延ばし」など指摘しています。

「医療崩壊」を回避するためには、医療・介護現場への財政支援と診療報酬の大幅な引き上げ、院内感染防止のための衛生資材の早急な充足、公立・公的病院の再編統合の見直しなどが求められます。

さらには今後の感染症拡大への備えとして、公衆衛生を充実させることも急務であり、保健所数を増やしていくとともに、感染症研究所などへの予算を拡充するといった政策への転換が必要です。

## SNSなど多くの抗議で 検察庁法案が見送り



国会前での抗議行動

【本部憲法平和担当 田崎遊記】内閣による検察幹部人事への恣意的介入を可能にする「検察庁法改正案」には、世論調査で約7割が反対し、歌手や俳優などの著名人もSNSで抗議の意思を表明(関連するツイッターで1000万件)、検察OBからも撤回を求める意見書が出されるなど、反対の声が広がりました。

衆院内閣委員会で強行採決かと緊迫する週末金曜日の5月15日、朝から国会周辺には市民が集まりました。委員会室にまで「強行採決反対」の声が聞こえるほどでした。夜には、ツイッターの「#国会個人包囲0515」などのハッシュタグで呼びかけられた抗議に、思い思いのプラカードを手にした数百人の市民が参加。新型コロナウイルス感染防止のために2メートルの間隔をあけてサイレントレジスタンスを行いました。その間に参加者有志が持ってきた黄色いテープをつないで国会を包囲しました。

## 町田 青年部結成に尽力 中山元委員長が永眠



中山さん

【町田支部発】町田支部の元執行委員長で本部中央執行委員を歴任した中山竹治さんが3月24日に逝去されました。享年88歳でした。中山さんは1955年に組合加入し、本部青年部結成時に副部長を務めるなど、長きにわたり組合運動に力を注ぎ、町田では常任執行委員、副委員長を経て1997年から2001年

まで5年間にわたり執行委員長を務められ、仲間の先頭に立って奮闘されました。また、東京建築カレッジの講師としても活躍され、後進の指導・育成にも尽力されました。葬儀はご遺族の意向で家族葬となり、親しい仲間などの見送りがありませんでしたが、組合員一同、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

## 荒川 教宣、平和熱心に 豊田元委員長が逝去



豊田さん

【荒川支部発】荒川支部の元執行委員長の豊田佳二さんが5月12日に逝去されました。享年73歳。豊田さんは1969年に組合に加入し、分会長、支

部財政部長、支部副委員長を経て、1997年から2017年までの20年間、支部委員長を務められました。本部中執では財政担当、教宣担当、厚文担当を歴任し、特に教宣は10年と長く務められました。平和運動にも熱心で、荒川原水協の代表団として毎年、原水禁世界大会に参加